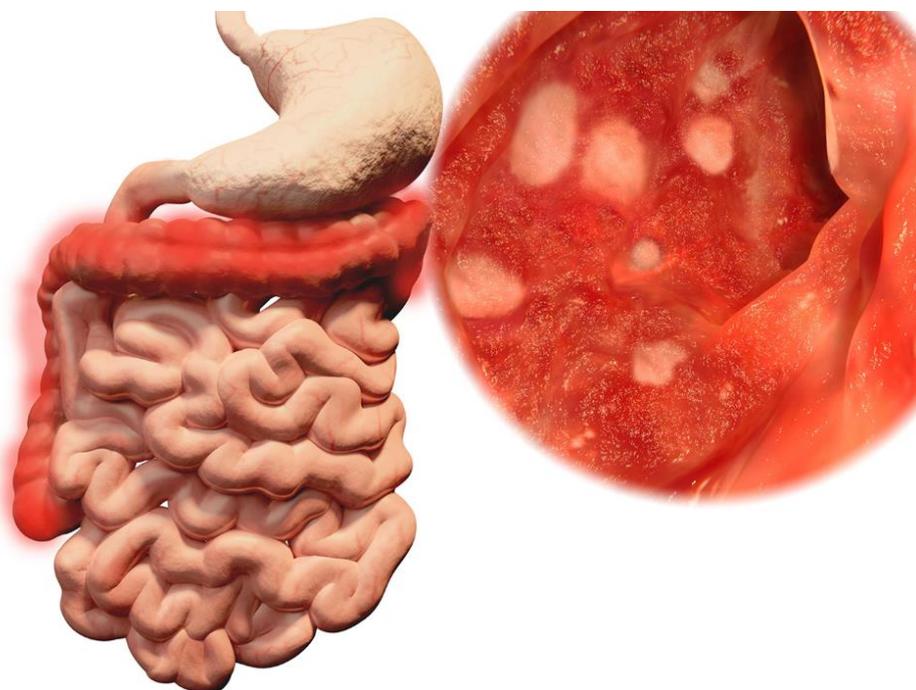


潰瘍性大腸炎治療薬 トファシチニブ

トファシチニブを投与された中等症～重症の活動性潰瘍性大腸炎患者は、臨床的寛解が得られる可能性が高い結果が New England Journal of Medicine 誌に報告されました。



トファシチニブ(tofacitinib)(CP-690,550)は、ヤヌスキナーゼ 1, 2, 3 の経口阻害薬で、インターロイキン 2, 4, 7, 9, 15, 21 などのサイトカインが関わるシグナル伝達を阻害すると考えられています。



投与 8 週の時点での臨牀的寛解（Mayo スコアが 2 以下で，いずれのサブスコアも 1 未満であることと定義）が認められたのは，トファシチニブ 3 mg 群で 33%（ $P=0.01$ ），10 mg 群では 48%（ $P<0.001$ ），15 mg 群では 41%（ $P<0.001$ ）であったのに対し，プラセボ群では 10%でありました。

